

「全国産業資源循環連合会 カーボンニュートラル行動計画」のポイント

今回、新たに策定した「全国産業資源循環連合会 カーボンニュートラル行動計画」は、「全国産業資源循環連合会 低炭素社会実行計画」の内容を基本としております。

「全国産業資源循環連合会 カーボンニュートラル行動計画」におけるポイント（変更点）は、下記のとおりです。

1. 新たな計画目標値を策定

近年、2030年度目標を改定した業界団体が増加しており、全産連としても2030年度目標値の改定が社会的にも求められていると考えております。また、国においては、再資源化事業高度化法の成立や脱炭素社会の実現に向けた民間投資を後押しするため、2023年度に新たな国債の「GX経済移行債」を発行することにして、経済産業省と環境省で、合わせて5061億円が予算に盛り込まれるなど従前と周辺環境が変わってきています。

全産連の低炭素社会実行計画目標等検討会における将来推計の議論では、2030年度排出量を「2013年度比-15%」程度であれば、実現可能な範囲ではないかと推察しているところです。（低炭素社会実行計画の目標値は2010年度比-10%）

これらを踏まえ、全産連の新たな計画目標値は、2030年度排出量を「2013年度比-15%」としました。

2. 新しい計画の名称について

多くの業界団体は「低炭素社会実行計画」から「カーボンニュートラル行動計画」と名称変更をしており、また、毎年度、環境省よりフォローアップを受けている専門委員会も名称変更をしております。（「低炭素社会実行計画フォローアップ専門委員会」を「カーボンニュートラル行動計画フォローアップ専門委員会」に改組）

これらを踏まえ、新しい計画の名称を「カーボンニュートラル行動計画」と名称変更しました。